Samantha Thavasa Japan Limited

平成24年1月13日
株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド

平成24年2月期(平成23年3月～11月)第3四半期　決算補足資料

連結損益計算書

(単位:百万円　単位未満切捨て)

	平成23年2月期 3Q実績	平成24年2月期 3Q実績	前期比 (%)
売上高	21,110	22,258	105.4%
営業利益	604	453	75.1%
経常利益	543	422	77.7%
四半期純利益	349	266	76.3%

セグメント情報

(単位:百万円　単位未満切捨て)

ファッションブランドビジネス	平成23年2月期 3Q実績	平成24年2月期 3Q実績	前期比 (%)
売上高	15,146	16,121	106.4%
営業利益	621	768	123.6%

ファッションeコマースビジネス	平成23年2月期 3Q実績	平成24年2月期 3Q実績	前期比 (%)
売上高	5,964	6,137	102.9%
営業利益	△ 13	△ 310	-

＜決算概要＞

第3四半期連結決算をセグメントごとに説明したします。

ファッションブランドビジネスにおいて、バッグ・ジュエリー事業を中心とする株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド及び連結子会社でアパレル事業を中心とする株式会社バーンデストジャパンリミテッドが好調に推移し、かつ海外事業も順調に推移し、セグメントの売上高は161億21百万円(前年同期比6.4%増、9億74百万円増)となり、営業利益は7億68百万円(前年同期比23.6%増、1億46百万円増)となりました。引続き現在も好調に推移しており、特にバッグ・ジュエリー事業を中心とする株式会社サマンサタバサジャパンリミテッドは、平成23年12月において過去月次最高の売上高と利益を記録しました。

一方連結子会社のスタイライフ株式会社を中心とするファッションeコマース事業において、セグメントの売上高は61億37百万(前年同期比2.9%増、1億73百万円増)となったものの、営業利益は△3億10百万円(前年同期は△13百万円、前年同期比2億96百万円減)となりました。しかし、平成23年7月より取り組み始めた事業改革が寄与し、平成23年10月以降は業績が回復基調にあり、高収益企業への基盤構築が進んでいます。